

Eメールニュース「みやぎの九条」NO. 447（号外）

2025 年 11 月 12 日発行／みやぎ憲法九条の会

仙台市青葉区柏木 1 丁目 2-45 フォレスト仙台 5F

TEL : 022-728-8812 FAX : 022-276-5160

<http://miyagi9jou.sakura.ne.jp/>

mail: info@9jou.jp



〔被爆 100 年までに核廃絶を！ ～被爆 80 年の今年を出発点に～〕

11 月 2 日（日） 650 名参加

東京エレクトロンホール宮城 大ホール（宮城県民会館）

「9 条は平和への道しるべ—憲法 9 条を守り生かす宮城のつどい」を開催し、650 名が参加しました。第 1 部では「宮城のうたごえ」の皆さんの平和の合唱、木村緋紗子さん（日本被団協代表理事・核兵器廃絶ネットみやぎ代表）の「ノーベル平和賞までのあゆみとこれから」と挨拶を述べられ、平和七夕に 45 年間参加してきた尚絅学院中高宗教部が「仙台平和七夕 50 周年」をリレートークで振り返った。第 2 部では

秋葉忠利氏（前広島市長・原水禁顧問）が「被爆 100 年までに核廃絶を！—被爆 80 周年の今年を出発点に—」と講演された。



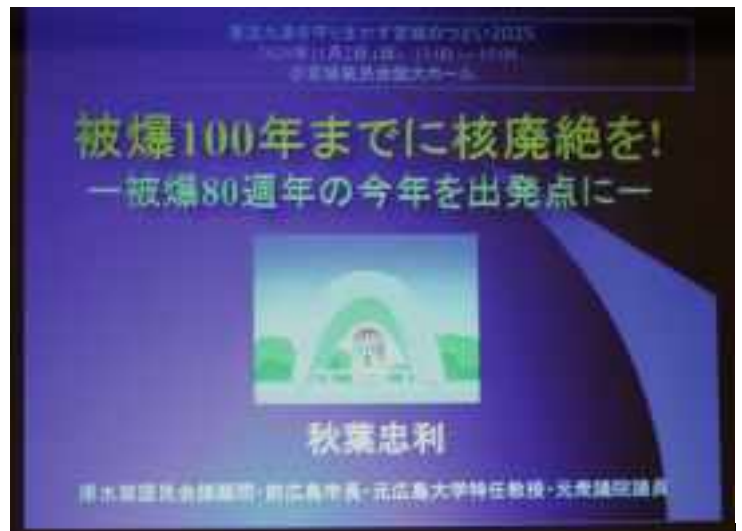
秋葉忠利氏は、講演の冒頭で「世界の平和は依然として脅かされている」と語り、こんな絶望的な状況の中で我々がなんとか「希望の種」を見つけ出す、そうした作業が必要であり、そして未来に向かうために考えたのは、第一部が被団協、第二部が 2035 ビジョン、2045 ビジョン、第三部が 1 人から始めよう。

秋葉氏は、世界と日本の平和運動の現状を見つめ直し、被爆者の思いを受け継ぐことの重要性を力強く訴えた。被爆者の皆さんも頑張り被団協が主張できたということ本当に嬉しい。しかし、現代社会の危機を直視しながら今こそ平和運動を新しい段階へ進めるべきだと訴えた。

秋葉氏は、被爆者の高齢化が進む中で「次の世代がその体験を語り継ぐだけでなく、行動として継承しなければならない」とし、平和運動の「記憶から実践への転換」を呼びかけた。

また、日本政府が核兵器禁止条約会議にオブザーバー参加をとすることには、「時間稼ぎ出席であり、実効性ある行動と政策転換されるものではない」と批判し、核抑止に依存する安全保障の発想を改めるよう促した。

そして、秋葉氏は「核兵器廃絶ビジョン 2045」を提唱。これは被爆から 100 年を迎える年を目標に、「2045 年までに核兵器廃絶」という明確な期限を持ったビジョンを世界が協力して核兵器のない地球を実現するための行動計画である。世界の世論の動向を見ても非核地帯条約の締結、国際司法の裁判、国民投票、それからノーベル平和賞といろいろなことは、やはり核廃絶への流れがとても強まっている。



その中間目標として、2035 年までに核兵器の「先制不使用」を国際的に確立させる。核保有 9 カ国で中国とインドは、先制不使用という政策を採用した。被爆者団体、平和市長会議、市民社会、学术界が連携して進めるべきであり、被爆体験を単なる証言として残すだけでなく、教育や学問の体系として確立し、歴史的記憶を未来へ確実に伝える、若者の学びや社会的活動に結びつけることが必要だと説いた。

講演の終盤では、「希望は絶望の中から見出される」と述べ、困難な時代であっても行動する勇気を失わないよう呼びかけた。愛と連帯を軸に、次の世代が主体的に平和を創る社会を築いていくことこそ、真の核廃絶への道であると結んだ。

また、「希望を失わず行動し続けることが真の平和を築く力になる」と締めくくり「ひとりから始めよう」と呼びかけ、人々の愛と連帯を信じる姿勢を示した。

最後に、1 本の鉛筆で「愛」と「いのち」と書く美空ひばりの歌を引用し、「小さな行動から平和は始まる」と結んだ。



戦後80年 被爆80年 戦争も核もない世界へ

憲法9条を守り生かす宮城のつどい2025 アピール

ともに歩もう、憲法が示す道を！

戦後80年、被爆80年のこの夏、日本の私たちは戦争のない、平和な日常の大切さを確かめ合いました。戦争の惨禍を再び繰り返さないことを誓った日本国憲法の下で実現した不戦の80年間でした。

ロシアによるウクライナ侵攻から3年半、和平への道は一向に見えず、さらに、今、私たちは、この地球上、同じ空の下に生きる人々の上にジェノサイドが進行している世界に生きています。爆撃で命を奪われ、日々、飢えと恐怖と悲しみにさらされているのがガザの人々の日常です。これ以上の不正義はあるでしょうか。どうすれば人類は戦争と決別することができるのかが問われています。

日本国憲法前文は「全世界の国民が恐怖と欠乏から免れ平和のうちに生存する権利」を謳っています。これをさらに具体的な条文にしたのが憲法9条です。長くその座にある自民党政権は、この憲法9条を無きものにして日本が戦争のできる国に戻ることを目指してきました。しかし、国民の9条への支持に阻まれて、これを果たすことができませんでした。そのため、実質的に憲法を破壊、軍拡を進め自衛隊の性格も変容させてきました。2015年の安全保障関連法(戦争法)の強行や岸田政権が行った2022年の「安保3文書の改訂」です。これまでの専守防衛を投げ捨て、先制攻撃も辞さない、有事には自衛隊は米軍の指揮の下に戦うなどが取り決められています。まさにクーデターさながらの憲法を無視・破壊する政治です。

そして、10月21日、内閣総理大臣に就任した高市早苗氏は、この改憲を信条としてきたとしてきた政治家です。今般の政権樹立に当たり、日本維新の会との合意文書には「憲法9条改正」と、議員任期延長などをめざす「緊急事態条項」について両党の条文起草協議会を設置し、26年度中の条文案の国会提出をめざすこと、衆参両院の憲法審査会に条文起草委員会を常設することを明記し、改憲への動きを加速度的に進めようとしています。憲法がめざす道に背く大変危険な政権と言わざるを得ません。

物価高にあえぐ国民生活への手当てもなされないまま、軍拡予算確保のための増税、福祉や社会保障の削減など、国民負担は増えるばかりです。この間の学会の解体や、治安維持法を彷彿とさせる「スパイ防止法」の制定、議員定数削減を主張する動きはこうした軍事国家への流れと軌を一にしています。軍事優先の社会は戦争が始まる前から国民の生活を脅かすのです。

さらに10月24日の高市首相の所信表明演説では、27年度までに軍事費をGDP2%とまで引き上げるとしてきた方針を今年度中に前倒しして実現、さらなる軍拡に向けて26年中に安保3文書を再改定すると述べています。アメリカの要求するGDP3.5%に向けて舵を切るものと思われます。

そして、その動きを後押しするのは、この間の国政選挙で、国民主権を否定し、差別と分断をあおり、核兵器保有が安上がりで強弁する新興勢力の伸長です。これを支持したのは「自分たちは、この社会で大切にされていない」と感じている人たちだと言われています。私たちが取り組まなければならないのは、社会に深刻なゆがみをもたらした強い者勝ちの新自由主義社会そのものを変えていくこと、そのもとで損なわれてきた民主主義や平和主義の価値を私たちの社会に取り戻していく営みです。

今ここに集う皆さん、そのために手をつなぐ大きな共同・協同を拓けてまいりましょう。

昨年12月、日本被団協の皆さんがノーベル平和賞を受賞しました。これは被爆の実相を語り続けてきた貢献に対する敬意とあわせ、唯一の戦争被爆国であり、非戦の憲法を持つ日本が、この世界から核兵器を廃絶するための先頭に立つことを求めていることです。核兵器廃絶には、あらゆる戦争を否定する道しかありません。その道を、この世界をともに生きる人々の平和と自由と尊厳にかけて、たゆまず歩み続けることをここに誓い合ひましょう。

2025年11月2日 憲法九条を守り生かす宮城のつどい2025参加者一同

宮城県内九条の会連絡会の火曜日街頭宣伝

場所：仙台市中央通東二番丁 平和ビル前。 時間：12時から13時まで。

実施日：11月4日、11日、25日

11月の「19日行動」

19日行動は2015年9月19日に9条に違反する「安保法制を強行採決」したことを忘れず、「安保法制廃棄」を求めて毎月行っている取り組みです。

- 仙台市：11月19日(水) 12:00～13:00 場所：仙台市中央通東二番丁 平和ビル前
- 石巻市：11月19日(水) 15:00～16:00 場所：石巻工業高校前・蛇田交差点
- 涌谷町：11月19日(水) 13:00～13:30 場所：涌谷公民館前交差点
- 小牛田：11月19日(水) 13:00～13:30 場所：国道108号山の神神社前交差点
- 気仙沼市：11月19日(水) 11:00～11:30 場所：クボ店前
- 名取市：11月19日(水) 13:00～13:30 場所：名取駅西口前
- 岩沼市：11月19日(水) 16:00～16:45 場所：岩沼駅 東・西口
- 仙南九条の会：11月19日(水) 11:00～11:30

場所：白石市ヨークベニマル前（小雨決行）

11月3日は澤地久枝さんの提唱「アベ政治を許さない！」Day！！

- ・午後1時キッカリに「アベ政治を許さない！」ポスターを掲げましょう。
- ・名取市：ヨークベニマル愛島店前交差点付近
- ・涌谷町：涌谷公民館前交差点
- ・宮城野原九条の会：坂下交差点
- ・小牛田：国道108号山の神神社前交差点

地域の九条の会の定例行動(スタンディング)

- ・宮城野原九条の会 23 日行動：11 月 23 日(木)13:00～13:30 坂下交差点
- ・加茂九条の会：場所は泉区、北環状線と仙台・大衡線の交差点、ショッピングセンター「ランチ仙台」前、のぼり旗が目印。
毎週月・水・金曜日の 7:30～8:15 の週 3 回 “ウクライナに平和を・ガザに平和を”
訴えてスタンディング
毎週(水)13:30～14:00 ”大軍拡・大増税 NO!” でスタンディング

【各地でニュースが発行されている】

みやぎ県内の九条の会ではニュースを発行して賛同の会員へ配り、繋がりを持っています。全部ではないですが表紙のコピーで紹介します。

入手を希望する方は、メールのみですが事務局 (info@9jou.jp) へお願いします。

くらしと民主主義、史跡・緑を守る

多賀城懇話会ニュース

No.174 (11月号)
発行日 2025年11月10日
事務局 鈴木 利次
☎090・5350・9554
✉ m56977ts@gmail.com

第102回 高市政治を許さない？ 3の日スタンディング アピール



11月3日、第102回 高市政治を許さない？スタンディングアピールが、ヤマダ電機前と下馬交差点、18名の参加で行われました。今回から名称を変更して開催しました。「3の日行動」は今回で10年目となります。

自民・維新、排外主義政党の参政党など高市政治を支える政党は、物価高対策、消費税減税にも全く手を付けず、

GDP比3.5%どころか5%も視野に入れた大軍拡を目指し、突き進んでいます。大企業への優遇税制や内部留保もそのままだとますます貧富の格差が増大します。

高市政治は、安倍政治を踏襲しており、国民生活にとって最悪な方向に進んでいます。

市民運動にとって、「試練」の時ですが、全国各地で、高市政治を許さない行動をあらゆる分野ですすめることが大切になっています。



【県内で行われる活動のお知らせ】

前回 446 号掲載の追加分をお知らせします。

第4回 平和を考えるふるさとの関い

日本国憲法はこうして生まれた

— 力を尽くした宮城ゆかりの入々
吉野作造 鈴木安蔵 鈴木義男 —

今年が「戦後70年」といわれる節目の年にあたります。
この節目の年に私たちは、あらためて歴史を振り返り、その中から何を学び、
何を次の世代に伝えていくかを改めて考えてみたいと思います。

1945年(昭和20年)8月15日、日本はポツダム宣言を受諾し、連合国に
降伏しました。そして、新しい憲法が1946年(昭和21年)国民議会において
審議され、同年11月3日、日本国憲法が公布されました。

最終の日本はGHQの支配下にあったため歴代のある総理大臣から、日本
国憲法はいそゆる「押し付け憲法」と評されたこともありました。
私たちはこの節目の年に、改めてその成り立ちを学んでいきたいと思ひます。

その成り立ちには大きな役割を果たした宮城ゆかりの人々がいたのです。
今回は歴史研究家の永澤正基先生に詳しく明かしていただき、講師と参加
者の皆さんの憲法への思いを交流していきたいと思います。



主 催：日本国憲法九条の会
連絡先：050-1083-1634

2025年 11月22日(土) 13:30~16:00

塩理町塩理館3F 視聴覚ホール
(JR 塩理駅西口)

13:30 開 会

講 演「日本国憲法はこうして生まれた」
講 師『吉野作造遺稿』を発行する会
永澤 正基 氏

意見交換 「私たちは何を学び、
何を伝えていくのか」

16:00 閉 会

【資料代 300円】

永澤 正基 氏 プロフィール
1941年、宮城県生まれ。
東北学院大学卒。宮城県立中野
高等学校の社会科教師を務める
中、宮城県歴史教育協議会
の代表とともに吉野作造の資料
活動を開始する。2006年『吉
野作造遺稿』を編纂し、今秋まで
19号を発行。2009年より宮
城とともに「吉野作造を学ぶ研
究会と講演会」を開催している。



編集後記

急に寒くなりました。インフルエンザの流行もあり気をつけたいです。

さて、「9条のつどい」のことを早く伝えたいと急な号外発行を決断したのは良いが、
やや焦って編集しました。 (事務局；阿部 比佐久)